

シラバス情報

1 ページ

科目情報

科目名称	地域を活かすスポーツ振興策のデザイン (地域実践演習)			配当年次	1	授業コード	A220230004
開講年度	2017	単位数	2.0	開講時期	後期授業	科目分類	教養科目

代表教員情報

(カナ) 教員氏名	(マツウラヨシマサ) 松浦 義昌
--------------	-----------------------

担当教員情報

松浦 義昌	

時間割情報

木曜2コマ	B3-210		

メールアドレス等連絡先

matsuura@las.osakafu-u.ac.jp

オフィスアワー

水曜日、12時10分～12時55分

授業目標

<p>スポーツの実践は、健康の維持向上、さらには増進を目的としているばかりでなく、スポーツを通じたコミュニケーション育成も重要な役割を果たしています。スポーツを通じたコミュニケーション育成は、教育現場ばかりでなく、地域を活性化させる手段として、数多くの地方公共団体で実践され、様々な効果が得られています。しかしながら、地方公共団体が開催するスポーツ実践の参加者が急増しているわけではありません。スポーツ基本法が制定、施行され、スポーツに対する関心が高まっています。この中で、どのようなスポーツ振興が、自治体および住民にとって有意義かつ意味のあるものなのかについて自治体、地域住民、そして学生と共に探求していくことを目標とします。</p>
--

教科書

特に指定せず、必要に応じて、資料を配布します。

参考書

<p>新しい健康教育、日本健康教育士養成機構編著、保健同人社 地域高齢者の体力および生活活動の測定と評価、出村慎一監修、市村出版 健康・スポーツ科学のための調査研究法、出村慎一監修、杏林書院 地域高齢者のための転倒予防－転倒の基礎理論から介入実践まで－、出村慎一監修、杏林書院</p>

関連科目

<p>子どもの生活と健康教育：後期、火2 スポーツと社会：前期、木1 スポーツの構造：後期、木1</p>
--

授業時間外の学習

国民に親しまれているスポーツとそうでないスポーツ種目について、メディアを通じて調べ、それらの原因について探求することを期待します。スポーツの世代間交流について、地域スポーツ振興でどのような策が講じられているのかについて調べ、世代間交流の利点と欠点について、探求することを求めます。

授業概要

現在、地域で行っているスポーツ振興について、施設見学や実際に参加し、今後の地域を生かすスポーツ振興に役立つものかを、実体験を通じて感じ問題提起できる材料の提供を試みる。

成績評価

演習科目であるので、出席を重視し（出席点60点）、レポート（30点）、および積極性の評価：「学外での体験」（10点）、で評価します。

備考

地域実践演習」の履修に当たっては、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に加入することを条件とします。（羽曳野キャンパスはWill2に加入）
学生課学生サポートグループ（羽曳野キャンパスは事務所・学生グループ）において手続きしてください。

URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

授 業 計 画

- 1回目 オリエンテーション(「木」:1コマ)
堺市文化観光局スポーツ推進課スタッフの説明
- 2回目 【学外】堺市民オリンピックの実際(4コマ) 土、日および祭日に実施
金岡公園陸上競技場
- 3回目 【学外】海洋スポーツ振興の実際と体験(4コマ) 土、日および祭日に実施
大阪府立青少年海洋センター
- 4回目 【学外】障害者のスポーツ振興4の実際と講義(4コマ) 土、日および祭日に実施
堺市健康福祉プラザ(現地集合)
- 5回目 【学内】測定機器を用いたスポーツ振興の実際と体験(「木」:1コマ)
体育館内測定室
- 6回目 まとめとレポート課題:地域スポーツ振興の現状と今後の課題(「木」1コマ)